

## 令和6年産 玄米の残留農薬・重金属(カドミウム)検査結果

1. 検査対象 玄米

2. 検査日 令和6年12月10日～令和7年1月14日

3. 検査依頼先 公益財団法人 山口県予防保健協会

4. 検査方法・検体数・検出限界

項目	試料	検体数	項目数	検査方法	定量下限値(ppm)
残留農薬	玄米	22	121	GC-MS <sup>1)</sup> HPLC-MS <sup>2)</sup>	0.01
重金属	玄米	22	1(カドミウム)	ICP-AES <sup>3)</sup>	0.01

<sup>1)</sup>: GC-MSとは Gas Chromatography(ガスクロマトグラフ分析法)–Mass Spectrometry(質量分析法)の略です。

<sup>2)</sup>: HPLC-MS とは High Performance Liquid Chromatography (高速液体クロマトグラフ分析法)–Mass Spectrometry(質量分析法)の略です。

<sup>3)</sup>ICP-AES とは Inductively Coupled Plasma Spectrometry(誘導結合プラズマ分析法)–Atomic Emission Spectroscopy(発光分析法)の略です。

5. 検査結果

(1) 残留農薬検査

検査を実施した玄米22検体の残留農薬(121項目)は、すべて厚生労働省の基準値以下でした。

(2) 重金属(カドミウム)検査

検査を実施した玄米22検体は、すべて厚生労働省の基準値以下でした。